

平成24年度 川崎市障害者地域自立支援協議会 こども部会報告

1 平成24年度実施状況

準備会 平成24年8月27日（月）15時から17時

川崎区役所7階第2会議室

- ・自己紹介
- ・川崎市障害者地域自立支援協議会の体制及び専門部会について確認

第1回 平成24年10月4日（木）9時30分から12時

川崎市福祉センター3階第1会議室A

- ・部会長、副部会長の選任
- ・こども部会で検討すべき課題について

第2回 平成24年12月5日（水）9時30分から11時30分

中原区役所506会議室

- ・サポートノートグループと課題整理グループに分かれ検討
- ・サポートノートの帳票検討

課題整理グループにおける課題抽出

第3回 平成25年1月29日（火）9時30分から11時30分

川崎市母子福祉センターサン・ライブ会議室

- ・サポートノート試行に向けての準備
- ・課題整理

第4回 平成25年3月7日（木）9時30分から11時30分

川崎市母子福祉センターサン・ライブ会議室

- ・平成24年度の取組総括

その他（予定）

- ・各グループ別活動
- ・平成24年3月28日（木）第4回障害者地域自立支援協議会連絡会議「こどものくらし in かわさき ～かわさきっ子のくらしをみんなで考える～」登壇

2 内容

平成24年度は、サポートノートの試行と課題整理の2つをテーマに活動を行いました。

サポートノートとは、「今までに何回も同じことを聞かれて困った。」「引継ぎが不十分で、適切な支援方法が分からない。」といった現場で生じている課題を解決するために作成された1冊のノートです。本人に関する情報をまとめるもので、本人又

は家族が作成し、入学、進級、サービス利用時又は就労時等に活用します。部会内で所属機関や立場の多様性を生かして議論を重ね、部会外からの意見も聞きながら書式を改善してまいりました。さらに良いものにするために、今後は本人及び家族に試しに使ってもらった感想等も反映します。

課題整理については、車椅子を利用している委員や親の会の委員等からの意見も含めた課題整理を通して、障害のあるこどもをとりまく課題の多様さ及び複雑さ等があらためて浮き彫りになりました。18年という短い「こども」でいる期間の中で著しく変化するライフステージでは、直面する課題も多岐にわたります。本人を取り巻く課題、親が抱える課題、支援者や相談を受ける側が直面する課題等に分けられます。特に今年度は、「相談がどこへ行っても進まないで途切れてしまう。」「どこに相談すればいいのか分からない。」といった声を基に、相談体制に関する課題を中心に整理し、実際に現場で「苦労」してきたという声も生かしていきました。課題を課題で終わらせず、こども本人や家族が安心して社会生活を送ることができるような支援につなげられるように、今回形になったものを今後の検討に活用していきます。

3 今後

サポートノートについては、平成24年度をとおして書式を固めてきました。しかしながら、本格実施に向けては、その前段階である試行を通じた現場の声を欠かすことはできません。特に3月から4月にかけては年度の変わり目、すなわちこども達をとりまく環境の大きな変わり目ということもあり、つなぎの支援が最も求められる時期でもあります。そうした時期を含めた、少なくともこれから半年間は、試行のための期間として必要になってきます。ページに対する意見、広報に対する意見又は使い方等の説明に対する意見等の様々な角度からの声を生かして、サポートノート本体が独り歩きせず有効に活用されるものとなるように、次年度においても継続的な検討が必要です。

課題整理においても、障害をお持ちの方、子育てをされている最中の方、事業所及び行政を含めて全市的に行った課題の抽出や検討については、今年度が初めての取り組みというのが実態です。第3次かわさきノーマライゼーションプラン改定に位置付けられた、「全市的に検討すべきテーマについては専門部会を設置」という役割を、まずは一步果たせたところでもあります。ここで多分野に及んで挙げられた課題を課題で終わらせないために、年度を超えて課題解決に向けた取り組みを重ねることが専門部会として求められているところです。